

あすなろ

東松島市立大曲小学校



学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

第2回家族のきずなエッセイ



標記コンクールが、東松島市モラロジー事務所主催で行われ、小学校の部（5年生対象）で、大曲小より3名が入賞しました。これは、人として大切に育みたい感謝の心について、子どもたちと共に考えることにより、家庭の教育力と地域社会の道徳力の向上に寄与することと、学校の道徳教育を支援することを目的としています。3名の作品は、日常生活の家族の姿を、子どもらしい素直な感性で見つめ、短い文の中に、温かい表現で生き生きと書き表しています。下記に紹介します。



ママいつもありがとう

五年 佐藤 春亜

ママ、いつもありがとう。
朝・昼・夜とご飯を作ってくれてありがとう。ママのご飯は世界一おいしいよ。
毎日毎日洗たくしてくれてありがとう。
ママのおかげで毎日きれいな服を着られるよ。ありがとう。
朝、パパのご飯を作るのも忙しいのに、私たちの髪を結んでくれてありがとう。
いつもかわいい髪がたにしてくれてとてもうれしいよ。
ママ、いつもお家をきれいにしてくれてありがとう。
おかげでいつも家にいる時に気持ちよく過ごせるよ。
ママ、この他にもいろいろあるけど、私は、ママがいなければ、料理もできなくて洗たくもできなくて髪も上手に結べないことになってしまいます。
ママ、いつも言えないけど「本当にありがとう、感謝しています。」

家族への感謝

五年 西城 優真

ぼくのお母さんは、朝早く仕事に行くので毎日朝は、バタしています。お母さんが仕事から帰ってくると、「ランドセル・明日の準備・宿題・プリント類は。」とさわがれます。
ぼくは、「今やろうと思ってたの。」と言うと「今っていつ。」とお母さんにおかれ、ぼくは急いで明日の準備をします。でも、お母さんのおかげで、一年生からずっと忘れ物をしたことがありません。ぼくがこまらないように、お母さんは言ってくれてるんだと思いました。
仕事が終わる時は、見送りをしてくれます。ぼくの姿が見えなくなるまで見守ってくれています。
「車に気をつけなさい・左右確認なさい」いつも言われることです。うるさいなと思う時もあるけど、ぼくのために言ってくれるお母さんに「ありがとうございます。」

私の大好きなおかあさん

五年 秋山 瑞季

私のお母さんは毎日毎日仕事に出ている。忙しい中、家では家事をこなしている。私はそんなお母さんが好きだ。
私は友達にいやなことを言われたとき、お母さんに相談する。私が悪いということ事だったら、しかられるけど、後から思うと、しかられてよかったんだと思うことがある。逆に友達が悪かったときは、はげましてくれて、
「ママだけは瑞季の味方。」と言ってくれた時、私はとても元気づけられた。
私は大切にしていてくれるものがある。人への言葉だ。自分は相手をききつけたかと思っていなくてもその言葉で相手をききつけている時があると、お母さんに言われて、その時は、相手だって悪いところがあるのに思ったけれど、今思うと自分も悪かったんだと思うようになった。
いつもは、照れくさくて言えないけれど、仕事をがんばるお母さんが大好き。仕事や家事を無理しないでね。ずっと大好きです。

第2回大曲出前講座 親子で作るフラワーアレンジメント



前回のクリスマスオーナメント作りに続き、『親子でフラワーアレンジメント作り』が17日、大曲市民センターで行われました。東松島市人材バンク登録・今村憲子先生を講師に、親子で挑戦しました。

今回は、バラを材料に、杉の葉、ユーカリを使い、世界に一つだけのオリジナルな作品が出来上がりました。(写真右)

皆さん、オリジナル作品を持って、満足そうな表情ですね。



講師の今村先生からは、「花をさすときには、茎をななめに切るとか、茎と茎の間をはなして、中心に向かってようにさしていく・・・」というアドバイスをもらいながら、終始和やかに作業を進めました。

今回も、地域資源（地域施設や人材）の活用の事業を企画し、準備、運営を進めた菅井先生は、「大曲市民センターが、学校と同じように子どもたちの活動の拠点として多くの人の集いの場となっていることが素晴らしい。子どもたちも、学年の枠を超え、親と一緒に活動をすることで、自分の気付かなかった一面も知ることができたようだ。活動後の集合写真を見ていると、短時間の中での活動から参加者の一体感も感じられる。今後も、子どもや保護者のニーズ、地域の中にある資源を活用していけるように工夫していきたい」と話していました。前回に続き参加してくれた親子もおり、大曲市民センターが本当に身近な場所となってきたことも感じられます。これからも、大曲市民センターに気軽に足を運んでみてください。

大曲町春書きがらみ会

五日、大曲町づくり協議会主催の新春書きがらみ会が、大曲市民センターで行われました。冬休みの課題の毛筆・硬筆を中心に作品制作に取り組みました。大曲小の児童が参加。指導は、元大曲小教員の地元在住の高橋きみゑ先生、本校教頭が行い、子どもたちも熱心に取り組みました。最後には、地元婦人会の皆さんが作ってくれた、雑煮、や餅を食べ、新年を祝いました。中には、何回もお代わりする子どもおり、市民センターの所長さんや地域の方々とおしゃべりをしながら楽しいひとときを過ごしました。婦人会ボランティアの皆さんには、夏休み子ども塾でもお世話になりました。

*写真は、練習、会食会の様子です。

